

松陰の日

29

CONTENTS

講演会開催	1
第11回・第12回選書ツアー	2
新入生への図書館ガイダンス	4
LIBRARY GUIDANCE 4&5 開催	5
ライブラリサポーター感想	6
おすすめ図書	9
お知らせ	10

講演会開催

講師：青山弘一氏

テーマ：「還暦でHAWAIIワイメアの波に乗る」
～映像で見る青山弘一のあくなき挑戦～



司会：内藤大海（国士舘大学法学部准教授）

今回の講演会のテーマは「還暦でHAWAIIワイメアの波に乗る ～映像で見る青山弘一のあくなき挑戦～」。平成24年11月16日（金）に世田谷キャンパスの図書館・情報メディアセンター4階AVホールで、プロサーファーの青山弘一氏を招いて開催しました。司会は青山氏の良き理解者である国士舘大学法学部内藤大海准教授が務められ、青山氏の各大会での映像を映しながら、本人が状況等を解説されました。

講師の青山弘一氏は、日本プロサーフィン連盟公認のプロサーファーであるとともに、全日本マスターズ等各種水泳競技で優勝・記録保持者でもあります。特に講演では、これまで挑み続けてきたハワイ・ワイメアの「ビッグウエーブ」への熱き想いや還暦を迎えても更なる「ビッグウエーブ」へのチャレンジするエネルギーは何であるのかなどについて講演いただきました。

更に青山氏は「サーフィンによって自然を大切にすることが身につき、人生観も変わった。」と語り、参加者の学生らには、「自分を信じて軸をぶらさず、常に前向きに努力すれば夢はかなう。」とアドバイスがありました。



講演では、青山氏が大波をサーフする迫力ある数々の映像を併せて鑑賞したことから参加者の学生、教職員、公開利用者など約50人はサーフィンの醍醐味、挑戦し続ける精神力及び人生観など圧倒された講演会でした。

今回の講演会の総合司会担当者は、ライブラリサポーターの政経学部経済学科4年の西沢ひかりさんが担当し、講演終了時には青山氏に対して同サポーターの政経学部政治学科3年生の寺崎潤一さんから花束の贈呈と「チャレンジし続ける大切さを改めて感じました。」とのお礼の言葉を伝えて講演会を終了しました。



（第1情報サービス課 宮田俊彦）

第11回・第12回選書ツアー

第11回選書ツアーは、平成24年11月10日（土）紀伊國屋書店（新宿本店）で実施いたしました。

15名の学生さんが参加して、後輩の方達にも読んでいただきたいと願う332冊の図書が選定されました。

年2回の選書ツアーは、図書館行事としてすっかり恒例となり、前日の説明会を兼ねた座談会から、積極的に、楽しんで参加して下さる学生さんが増えています。



第12回選書ツアーは、平成25年6月15日（土）紀伊國屋書店（新宿本店）で実施いたしました。

毎回、学生バイヤーの関心が高く、募集期間がわずか数日で満員御礼となってしまう状態でしたので、第12回はバイヤーを15名から17名に増員しました。

選定図書は、和洋合わせて365冊でした。

第12回の選書ツアーに参加した学生バイヤーの感想文が、図書館ホームページに掲載されていますので、そちらもぜひご覧ください。



*選書ツアーの記事はこちら

<http://www.kokushikan.ac.jp/tagblocks/SetagayaL/news/SetagayaL/0000005312.html>

（第1情報サービス課 木下幸子）

新入生への図書館ガイダンス

本学では、新入生を対象とする各学部のオリエンテーション時に導入教育の一環として、学長講話及び教学関係部署による説明が毎年行われています。図書館・情報メディアセンターでは4月10日（水）に「図書館ガイダンス」を開催して図書館・情報メディアセンターの施設及び設備、さらに各資料の概要、利用方法及び各種サービスなどの説明を行いました。

ガイダンスの進め方としては、平成23年度から図書館員だけでなく、在学生にも参加してもらい上級生から新入生に対して「図書館の有効な活用法」を説明する内容に変更しました。

特に新入生においては、入学直後何かと生活環境の変化等により、きめ細かい「図書館ガイダンス」を実施してもなかなか内容が十分に理解されず効果が薄いように感じましたが、先輩からのアドバイス方式に変更してからは、耳を傾ける姿勢となり、効果的な図書館ガイダンスを開催することができました。



「図書館ガイダンスの主な内容」

1. 図書館ホームページの検索方法
2. 施設、設備の利用方法
3. 各種データベースの説明
4. 電子ジャーナルの検索方法
5. 図書の貸出・返却方法
6. 図書館の相互協力（ILL）
 - 1) 文献複写
 - 2) 図書の貸借
7. 各種ガイダンスの紹介
 - 1) 図書館活用編
 - 2) レポート作成編
 - 3) データベース活用編



(第1情報サービス課 宮田俊彦)

LIBRARY GUIDANCE 4&5 開催

平成 24 年 12 月 11 日（火）・12 日（水）及び平成 25 年 6 月 21 日（金）・26 日（水）、7 月 5 日（金）に、中央図書館・情報メディアセンター（グループスタディ室A）にて、「少人数向けガイダンス レポートの材料を探しに図書館へ行こう - こんなに使える！ 国士館大学中央図書館・情報メディアセンターの活用術 -」を実施しました。

このガイダンスは平成 22 年 12 月に第 1 回目を実施、少人数のため気負わずに参加できるスタイルのガイダンスとして参加者から好評で、今回で 5 回目の開催となりました。

「授業でレポート課題が出題された」という設定でレポート作成の流れを追い、実際に館内を巡りながら、資料の探し方・入手方法やレポート内容に合った情報検索方法を身につけてもらう体験型プログラムになっています。

少人数ならではの和やかな雰囲気の中、参加者と積極的な質疑が交わされました。参加者から「早速、レポートに活かそう」、「少人数だったので、焦ったりしなかった」「大学 4 年目にして、初めて知ることが多々あった」などの声がありました。本ガイダンスはさらに内容を充実させ、今後も継続的開催する予定です。

（第 1 情報サービス課 西本滋）



ガイダンス風景

当日のプログラム （配付資料より抜粋）

- 1 課題が提示される
- 2 課題図書を手に入れる
- 3 問題文で問われていることを明確化する
- 4 課題図書を読む
- 5 情報検索をする
情報検索ステップ 1
（新聞記事を探す）
情報検索ステップ 2
（雑誌記事を探す）
- 6 書いてみる
- 7 内容を磨く

★… レポートの書き方
オススメ本リスト …★
★… 本日のまとめ …★

ライブラリサポーター感想

ライブラリサポーター制度をはじめて2年が過ぎました。
2012年5月から8月夏季休暇を除いて12月までの約6ヶ月、大学院生の皆さんにいろいろサポートしていただきました。ライブラリサポーターを勤めてくださった方々からこんな感想がよせられています。読んでみてください。

『ライブラリサポーター（法学分野担当）』

修士課程総合知的財産法学研究科2年
星野 秀明

今年度、約半年間ライブラリサポーター（法学分野）を勤めさせていただきました。このライブラリサポーターは、昨年度（2011年）からスタートしたもので、私が大学生の頃にはなかった制度です。

図書や資料が見つからない、検索方法が分からない、レポートの書き方が分からない等々を気軽に相談することができます。学生の方には、積極的にこの制度をもっと活用してほしいと思いました。

利用された方から、「ありがとうございます。」「見つかりました。」などの声をいただいたとき、サポーターとしてやりがいを感じました。

この制度がより意義のあるものとなるように、次年度以降利用者が増えることを期待しています。

以上

2012年12月

.....
2012年度はこんな日程でした。

月曜日 政治学分野
火曜日 法学分野
水曜日 経営学・経済学分野
木曜日 理工学分野
金曜日 人文科学分野

.....

『ライブラリサポーター報告書』

修士課程経営学研究科 2年

エン ショウ

半年間、ライブラリサポーターとして図書館で働きましたエンショウと申します。昨年、先輩の山田さんが同じくライブラリサポーターを担当したとき、いろいろ論文資料の探す方法を教えてくれて、大変助かりました。

今年の5月から自分もサポーターとして、図書館を利用する学生に雑誌論文、記事の検索方法、レポートの作成方法などを教えています。働く初日、蔵書検索、資料配架、学内データベース、学術情報リポジトリなど自分でもわからなかったけれど、次第に豊かな検索方法を教えられるようになりました。利用者が大勢ではなかったが、利用した学生の勉強、研究に多少便利になったと思います。特に、留学生の方はいつもこの辺の情報がなかなかないため、すごく苦勞しています。ライブラリサポーターを担当している間、留学生から探索方法、論文用資料の探し方、レポートの作成などの質問が多かったです。

短い間でしたが、図書館の方々と一緒に、学生さんの勉強をサポートして、自分も大きく成長ができました。

2012年12月

『ライブラリサポーター感想文』

修士課程工学研究科 電気工学専攻 2年

山本 四十六

私は、ライブラリサポーターとして、利用者の方々に適切なアドバイスを担当したため、図書館を活用する様々な活用術を覚えました。それにより、自分自身も研究や論文を作成するうえで、とても役に立ちました。この約半年間ライブラリサポーターという貴重な体験をさせて頂いたことで、多くのことを学ぶことができました。ここで得た知識や経験は大学を卒業し、社会人になっても必ず役立つと思います。また丁寧にご指導して下さい、職員の方々にも深く御礼申し上げます。

2012年12月

『ライブラリサポーターを終了するにあたって』

修士課程人文科学研究科教育学専攻2年

石塚祥貴

私はこのライブラリサポーターの業務を終えるときに感じたのは、感謝と残念な気持ちです。

まずは、感謝についてです。私は大学在籍時、図書館を利用することはほとんどなく、本の検索の仕方などまったく知りませんでした。当初その点が不安でしたが、丁寧に教えてくださったおかげで、スムーズに業務ができました。また、この業務のおかげで、自分自身の研究の幅が広がったことも感謝したいと思っています。

一方残念というのは、私のように図書館を最大限活用できていない学生が少なくないことです。このライブラリサポーターや図書館の利用方法をもっと多くの学生に知ってもらえればと感じました。

約半年間、ありがとうございました。

2012年12月

『ライブラリサポーターを終えるにあたり』

修士課程人文科学研究科 教育学専攻2年

飯倉由江

今年ライブラリサポーターを勤め、自分は「もっと学生に図書館のシステムを知って欲しい」と感じた。例えばPCを使って作業したい場合は、貸し出しが可能であり、Office系のプログラムを活用し、インターネットの閲覧も可能である。席が埋まっているだけで踵を返してしまう学生が少なからず見受けられる。さらにライブラリサポーターの事を知らずに、奥のカウンターへ直行する学生も多かったように思える。その対策として、挙げられるものは張り紙に工夫を施す事だと感じた。より見て貰いやすく、発見しやすくする事で認知度が上がり、活用する学生も多くなるのではないだろうか。

2012年12月

2013年度も5月から、大学院生の方がライブラリサポーターを勤めてくださっています。レポートの書き方や資料の探し方、集め方、なんでも気軽に先輩に相談してみてください。きっと学生の皆さんのお役に立てると思います。

(第1情報サービス課 木下幸子)

おすすめ図書

【図書館・情報メディアセンター 第1情報サービス課課長推薦】

- 「経営の教科書：社長が押さえておくべき30の基礎科目」・・・
新将命 著 資料ID：00871268 所蔵館：中央図書館 2階 
- 「実践コンプライアンス法務」・・・
企業法務研究会著 資料ID：00835132 所蔵館：中央図書館 2階 
- 「アダム・スミス：『道徳感情論』と『国富論』の世界（中公新書）」・・・
堂目卓生著 資料ID：12034977 所蔵館：中央図書館 1階 
堂目卓生著 資料ID：10038813 所蔵館：鶴川図書館 2階

【新着おすすめ図書】

- 「組織を強くする人材活用戦略（日経文庫）」・・・
太田肇著 資料ID：12045518 所蔵館：中央図書館 1階 
- 「経営者が語る戦略教室」・・・
日本経済新聞社編 資料ID：12045515 所蔵館：中央図書館 1階 
- 「新・苦手な運動が好きになるスポーツのコツ；1 ダンス」・・・
七澤朱音著 資料ID：00923526 所蔵館：中央図書館 5階 
七澤朱音著 資料ID：00923585 所蔵館：鶴川図書館 3階
七澤朱音著 資料ID：00923793 所蔵館：多摩図書館
- 「文庫はなぜ読まれるのか：文庫の歴史と現在そして近未来」・・・
岩野裕一著 資料ID：00923877 所蔵館：中央図書館 3階 
- 「原発爆発」・・・
倉澤治雄著 資料ID：00923560 所蔵館：中央図書館 2階 

【就職活動関連図書】

- 「採用基準」・・・
伊賀泰代著 資料ID：12044199 所蔵館：中央図書館 1階 
- 「現実を視よ」・・・
柳井正著 資料ID：12044040 所蔵館：中央図書館 1階 
- 「ワーク・シフト：孤独と貧困から自由になる働き方の未来図」・・・
リンダ・グラットン著 資料ID：00908106 所蔵館：中央図書館 2階 
- 「会社四季報」・・・
東洋経済新報社著 資料ID：00924061 所蔵館：中央図書館 2階参考 
東洋経済新報社著 資料ID：00922357 所蔵館：鶴川図書館 参考
- 「大学生のためのデザイン・キャリア」・・・
渡辺三枝子 [ほか] 著 資料ID：00900942 所蔵館：中央図書館 2階 
渡辺三枝子 [ほか] 著 資料ID：00900902 所蔵館：鶴川図書館 3階

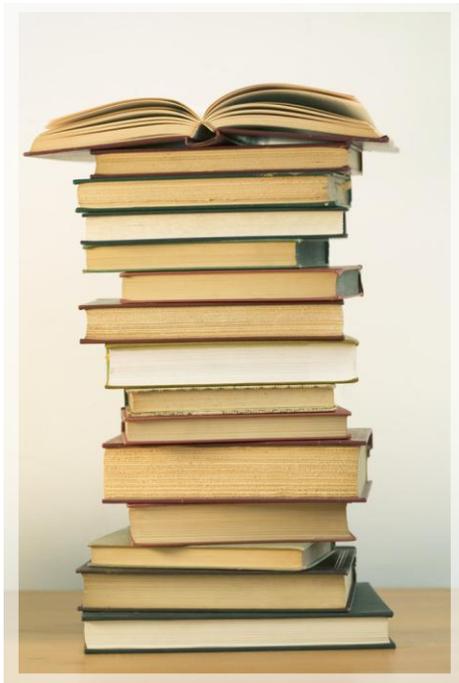
★他キャンパス図書館所蔵図書は、予約・取り寄せをすることで借りることができます！

お知らせ



★ KissコンテンツUP情報

◆ 国士舘大学発行の紀要 (2012.10～2013.10)



- 『政経論叢 161～164号』
- 『体育研究所報 30～31巻』
- 『体育・スポーツ科学研究 12～13号』
- 『国士舘哲学 17号』
- 『国士舘人文学 2～3号』
- 『21世紀アジア学研究 11号』
- 『ラーフィダーン 34号』
- 『国士舘大学 政治研究 4号』
- 『初等教育論集 14号』
- 『国士舘法研論集 14号』
- 『比較法制研究 33～35号』
- 『国士舘史研究年報 楓原 4号』
- 『経営論叢 1～3号』
- 『武徳紀要 28号』
- 『国士舘法學 43～44号』
- 『最先端技術関連法研究 9・10合併号～11号』
- 『Asia Japan Journal 7号』 1件



↓ 本学紀要を検索するには下記URLをご利用ください。

- 検索画面 → <https://kiss.kokushikan.ac.jp/pages/SA.aspx>
- 紀要データベース → <http://libw01.kokushikan.ac.jp/hp/Media000.html>



〈ご参考〉

- 図書館ホームページ・・・<http://libw01.kokushikan.ac.jp/hp/Main.html>

編集後記

「松陰」お待たせしました。今年度は忙しさにかまけているうちにこんな時期となってしまいました。情報は少し前のものもありますが、こんな事をしていただのかと思って読んでください。桜も咲き出し、すっかり春めいてきました。また新年度を迎えますが、いろいろな情報を図書館・情報メディアセンターとして発信していきますのでよろしくお願い致します。

(S)

『松陰 Show-in』

平成26年3月31日 第29号

発行：国士舘大学図書館・情報メディアセンター

編集：『松陰』編集委員会

〒154-8515 東京都世田谷区世田谷4-28-1

TEL：03-5481-3213 / Mail：libsyoin@kokushikan.ac.jp